



発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
〒807-0025  
TEL 093 (201) 0680 FAX (201) 7354  
第 353 号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

## 叙階50周年記念・帰国の旅 マヘル神父

オプレート会は、セントルイスの近くに雪の聖母マリアのシュライン・グランド施設〈黙想の家のようなもの〉があります。そこで、今年の記念祝賀会を行うことになりました。私もその中の一人で、司祭50周年のお祝いをして頂きました。私は、そのお祝いの為と、アメリカ訪問の為に帰りました。皆様のお蔭で大変素晴らしい5週間で過ごすことが出来ました。姉・妹と姪・甥、多くの友人等と再会することが出来ました。

皆あちらこちらに住んでいるので、アトランタからセントルイス、シカゴ、マディソン、ウィスコンシン州、サーギノ市、ミシガン州ボストン、ポートランドメインを尋ねました。

良く移動したので疲れましたが、沢山の仲間と再会することが出来、大変楽しいひとときを過ごすことが出来、嬉しい気持ちになりました。

最後にシカゴに戻って、シカゴ美術館とシカゴ市内を見物して、新たにアメリカを見ることが出来感激しました。そのあと、父母の墓参りをして、姉ともう一度会って日本に戻ってきました。

皆、私を入れて年を取り、元気な人、病気の人がおりましたが、一生懸命生きているのを見てとても励まされました。私は、今の生活のスタイルは、日本人らしくなりました。

アメリカに帰った時、レストランの肉の量の多さ、スーパーマーケットの広さ、品物の多さでびっくりして、アメリカより日本に慣れている自分に出会いました。

シカゴを歩いていると、道端で感じることは、人種の多さや、スタイル(背の高い、低い、太っている)の違いなど、言語の違いなど多様な人々が歩いていることです。

これだけ、お休みすると、辛いことは、仕事に戻らないといけないう事です。

けれども水巻教会の皆さん、その他の人のお蔭で色々な体験できたことは、感謝しています。この旅で、神様の恵みを頂いたこと、又、聖霊の動きに感謝いたします。



キリスト教と戦争・・・・・・・・・・2・3面  
委員会報告・・・・・・・・・・4・5面  
北九州レクリエーション大会・5・6面  
幼稚園から・教会学校・・・・・・・・7面  
お知らせ・・・・・・・・・・8面

## キリスト教徒へ必読本の紹介

## 吉岡英美紹介

「キリスト教と戦争」(愛と平和を説きつつ戦う論理) 石川明人著：著書詳解は文末

なぜキリスト教徒は、「愛」と「平和」を口にするのに、戦争をするのだろうか。この言葉は、「キリスト教徒と戦争」の本のまえがきに書かれている最初の一行の記述です。

「平和＝善」と「戦争＝悪」が共存しているこの世の中で、二者択一を迫り絶対平和主義を貫くことがキリスト教徒、日本・カトリック教会の使命ではなく、平和を祈りながら戦争をすることが矛盾することではない人間の営みであり、この世に正しい者はありません。「正しい者はいない、一人もいない」(ローマの信徒への手紙3：10)

キリスト誕生からキリスト教徒・教会は、2000年を経た今日に至っても、キリスト教の教えからこの世界から戦争は根絶することができてない。聖書の中から非暴力の絶対主義の精神の文言が見受けられますが、一方で人間は過ちや間違いを起こし、暴力を犯すこともあり、善意が結果として悪になってしまう矛盾を抱えているのが人間であり、いつの時代においても戦争が、人間社会の営みであることをキリスト教徒のみならず人間として自覚していないから、平和は実現できない。一つの答えとして、人間社会は「愛と平和」と「戦争」は決して矛盾しないことを示しており、「愛と平和」を祈り「戦争」を憎むことはキリスト教のみならず、どの宗教もが持っているものであり、キリスト教が絶対平和主義を貫いていたら、消滅していたかもしれないと語っています。この本の最後に、著者は「戦争と平和の問題を考えるというの

は、「愛」の困難に象徴されるような、人間の根本的な矛盾と限界を認め、受け入れることから始めなければいけないように思われると、結んでいます。(文章から抜粋)

本の構成は序章：キリスト教徒が抱える葛藤と矛盾、第一章：ローマ・カトリック教会の説く「正当防衛」、第二章：武装するプロテスタントたち、第三章：聖書における「戦争」と「平和」、第四章：初期キリスト教は平和主義だったのか、第五章：戦争・軍事の密接な関係、第六章：日本のキリスト教と戦争、終章：愛と宗教戦争。となっています。

ローマ・カトリック教会及び信仰に関する基本的な考え方は、カトリック信者が学べるように発行された①「現代世界憲章」、②「カトリック教会のカテキズム」及び1965年の第二バチカン公会議で採択された③「教会の社会教説綱要」の3編に示されています。その中の③「教会の社会教説綱要」の第11章、平和の促進の中で「戦争」「正当防衛」「軍縮」について述べられています。日本のカトリック教会はこれら3つに示されている「正戦論」や「正当防衛」を認める考えには、全くとっていいほど触れられないままであるのが現状です。日本・カトリック教会にとって「正戦論」と「正当防衛」を論じることは、不都合な真実なのか。

日本のカトリック教会指導者(日本の司教団)の文書・声明には、戦争・軍事に関する事柄について、とにかく全面的に否定するだけで、平和を実現させるための働きについて

は何なのかについては、具体的に述べられていないのが現状です。日本・カトリック教会が、信仰とは直接関係なく戦争や軍事についての考え方を独善的に示すことは大きな問題であります。信者の政治と社会の諸問題や世界観・歴史観・国家観に関する考え方や姿勢は、多様であり、自由で尊重されるもので偏った価値観を押し付けるものであってはならない。

以下では、ローマ・カトリック教会の説く「正当防衛」について、第一章の中から一部を抜粋して書き出します。

まず、最初に戦争に対するローマ・カトリック教会の立場は、「軍事行動を全面的に否定しているわけではない。もう少し丁寧に言い直すと、確かに平和な世界を望み、戦争を悪として強く非難しているものの、現状においてはいかなる武力行使を認めないという訳でもなく、正当防衛としてのそれは権利であるのみならず義務であるとして、条件付きの軍事行動には肯定的な立場を取っているのである」との考え方が示されています。

さらに、正当防衛は単に権利であるばかりでなく、他人の生命に責任を持つ者にとっては重大な義務となります。共通善を防衛するには、不正な侵犯者の有害行為を封じる必要があります。合法的な権威を持つ者には、その責任上、自分の責任下にある市民共同体を侵犯者から守るためには武力さえも行使する権利がある。(カトリック教会のカテキズム)；戦争の危険が存在し、しかも十分な力と権限を持つ国際的権力が存在しない間は、平和的解決のあらゆる手段を講じた上であれば政

府に対して正当防衛権を拒否することはできないであろう。(1965年：第二バチカン公会議で「現代世界憲章」が採択)。

ここでは、「正当防衛のための戦争」は認めていると解するのが妥当です。ここで、現代世界における国際連合が、その役目を期待出来るとされていますが、現実には、ナショナリズムとイデオロギーによる国家対立、経済における利害、宗教対立、さらに民族対立による紛争(戦争状態)が常態化し、平和機能を果たすことが出来ないことを念頭に置いていることに他ならないからでしょう。世界の歴史を振り返れば、いつも世界のどこかで紛争と戦争が続いているのです。

正しい条件(軍事力行使の四つの条件：カトリック教会のカテキズム)のもとであれば、武力行使は容認されるとしている以上、職業軍人(日本は自衛隊)として祖国の防衛に従事することも十分認められているのです。

祖国への奉仕に専念して戦線に従事している者は、自分が諸国民の安全と事由のための奉仕者であると考えべきです。この任務に正しく従事している間、彼らは真に平和の確立に寄与している。(現代世界憲章) 同じく第二バチカン公会議で採択された「教会における司教の司牧任務に関する教令」という文書では、従軍チャプレンを設置することにも積極的な言及がなされている。(※自衛隊にはチャプレンは存在してない)

・本の詳細：「キリスト教徒と戦争」石川明人著(中公新書)2016年1月25日発行

・参考：「教会の社会教説綱要」教皇庁正義と平和協議会発行(水巻教会図書室にあり)

# 委員会等報告

2016年10月分

## 10月度小教区委員会議事録(抜粋) 10月2日

### 1. 行事予定

- ・11月1日(火) 諸聖人ミサ
- ・11月2日(水) 死者の日ミサ
- ・11月3日(木) 神学院祭(召命の集い改め)
- ・11月6日(日) 七五三のお祝い
- ・11月20日(日) 聖堂の飾りつけ、大掃除
- ・11月23日(水) 福岡教区の日
- ・11月27日(日) 小教区の集い

### 2. 議題

①待降節黙想会 12月11日(日)  
来住神父様(黙想の家)にお願いしました。昼食を挟んで1日黙想会とする予定です。

②神学院祭 11月3日(木)  
8:30~16:00  
日本カトリック神学院福岡キャンパス  
8:30 開場 9:00 開会式  
9:30 ミサ ミサ後 子供企画、講演会、展示企画など  
15:00 閉会式

③福岡教区の日 11月23日(水)  
『いつくしみ深く、御父のように』  
10:15~16:00 福岡司教座聖堂  
(カトリック大名町教会)  
10:15~ 導入の祈り(テゼの祈り)  
10:30~ 講話と報告発表  
講話 渡辺隆義神父 「天草宣教450年と神のいつくしみ」  
報告発表5件 熊本地区、青年、女性の会、巡礼指定教会佐賀、巡礼指定教会大名町  
子供たちのための別プログラムあり  
12:30~14:00 昼食(各自持参)

ゆるしの秘跡

14:00~ 感謝ミサ 司式 宮原司教

④小教区の集い 11月27日(日)

・信徒の親睦を目的として開催します。近隣の住民にも案内を配布し、地域との交流にもつながるような活動にしていきたいと思えます。内容は担当地区にお任せします。楽しい企画を待っています。

・100円/枚の金券を事前販売します。収益は熊本地震支援募金に回すこととします。

・ガレージセール用品物提供をお願いします。

食事、飲み物 : 遠賀、海老津、芦屋、赤間  
手作りお菓子 : 梅ノ木、折尾

ガレージセール&子供向けゲーム: 高須・青葉、中間、吉田

⑤熊本支援(ボランティア)

9月は台風に見舞われ、最終日は十分な活動ができませんでした。

9月末で熊本のカリタス支援センターは解散となりました。但し、センター(建物)と布団は残されており、素泊まりは可能な状況です。復興はまだまだ進んでいません。現地の支援ニーズは根強く、ボランティア活動はこれからも続けていきます。

10月は農業ボランティアに行ってきました。(10月22日~23日)

⑥来年度の親睦旅行 5月3日~5月5日  
行先は五島。教会補助10万円、個人負担3万円/人を目安に詳細検討中です。

⑦パリミッション会の電動車いすは修理代20万円もすることがわかり、廃棄処分とな

りました。

⑧台所の雨漏りがひどく、修繕を検討していきます。

⑨エアコンが3台故障しています。修理代は3台で80万円。他のエアコンも老朽しているので全部取り替えることも考えています。(全部だと260万円)最新のエアコンだと台数を減らせるかもしれません。詳しい方がおられましたら情報提供をお願いします。

### 3. 地区集会報告

地区集会ではこんな意見がありました。

#### ①黙想会の開催要領

・平日、土曜日より、日曜日の方が参加しや

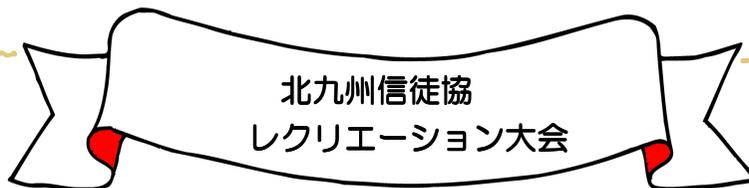
すいのでは。・丸1日は長すぎる。

#### ②巡礼旅行

- ・五島行きには賛成。
- ・行き先は上/下どちらでもいい。

#### ③心のともしび配布について

- ・信者の動向をつかむのに苦労している。なかなか連絡がつかない。
- ・信者にきちんと配布できる方法を考えていきたい。
- ・近隣に配るのはいいが、団地で1000戸にもなるため、配る範囲の設定が難しい。
- ・教会周辺に配ることから始めては。



10月10日に新田原グラウンドで北九州信徒協主催のレクリエーション大会が開催されました。水巻教会からは8名の少数精鋭の選手が参加してきました。午前中は大人はグランドゴルフ、子どもたちはグリーンソフトを楽しみ、午後はじゃんけん大会、パン食い競争、あめ食い競争、リレーなどの運動会が行われました。

そんな中、もっとも選手の少ない水巻教会選手団は 松尾隆さんがグランドゴルフで2度もホールインワンを達成し2位に食い込みました。また三谷尚さんがじゃんけん大会で優勝と大いに存在感を発揮することができました。また樽角たつきくんと、ともきちゃんは全種目に参加し、周りの皆さんから熱い声援が飛んでいました。

大阪教区からウーコンくん(高山右近のゆるキャラ)も駆けつけ、好天の下、ほのぼのとした大会となりました。

来年は大選手団で繰り出しましょう！！





最初はグランドゴルフ



水巻教会の簡易テント



大阪から駆け付けた、競技中応援続けた高山右近のゆるキャラ「ウーコン」。水巻教会のテントに訪問



午後の飴喰い競争：樽角たつきちゃんはすでに到着、ともきちゃんとお母さんがダッシュ。



ウーコンも並んで、閉会式。各競技の表彰もありました。



## 水巻聖母幼稚園から11月のお知らせ

いつも水巻聖母幼稚園へのお祈り・ご協力ありがとうございます。

11月は2017年度の入園願書受付があります。お心当たりのお子さまのおられる方に、お知らせ頂ければ幸いです。ぜひ皆様 ご来園ください。職員一同お待ちしております！

### ☆水巻聖母幼稚園 入園願書受付

11月1日(火) 10時~12時 16時~18時

### ☆入園面接

11月5日(土) 9時~12時

### ☆入園手続き

11月11日(金) 10時~12時 16時~18時

### ☆七五三

11月8日(火) 10時30分~11時

教会お御堂にて神父様より祝福していただきます。

未就園児の方も参加できます。11月1日(火)幼稚園まで申し込みください。

私たち教職員は子ども達の幸せを祈りながら、一人ひとりに寄り添い成長のお手伝いに心を尽くしていきます。これからもどうぞお祈りよろしく願いいたします。

園長 Sr松川明子

職員一同



## 教会学校のページ



9月25日 出席者 山田 連さん

- 福音 ルカ16章19~31を聖書で開いて、読みました。ラザロがどんな人かという勉強しました。
- 主の祈り、アヴェ・マリアの祈り、栄唱の祈りをしました。

10月9日 出席者 山田 連さん

- 4つの神秘(喜びの神秘、光の神秘、苦しみの神秘、栄えの神秘)について曜日ごとに唱える意味を勉強しました。
- 実際に、ロザリオを開いて、泰一黙想を唱えました。



# 11月のお知らせ

## ★特別献金★

9月25日 世界難民移住移動者の日献金  
42,320円  
ご協力、ありがとうございました。

## ★11月は死者の月です★

11月2日(水)午前9時30分から、死者の追悼の祈り(ミサ)を行います。色紙や用意してある紙に亡くなられた祈願者の名前を書いて、箱の中に入れてください。

## ★諸聖人ミサ★

日 時：11月1日(火)  
午前9時30分～

## ★11月3日 神学院祭★

今年も日本カトリック神学院で、神学院祭が行われます。参加される人は聖堂の後ろの紙に名前を書いてください。

## ★七五三のお祝いミサ★

11月8日(日)ミサ中に行います。

## ★小教区の日★

日 時：11月27日(日) ミサ後  
内 容：食事、クッキー、子どものコーナー、バザー(ガレーシセール)などをする予定です。

詳しい内容は、ミサ中のお知らせで確認してください。

## ★特別寄付★

地区の西山寿美枝様より、ご寄付をいただきました。  
ありがとうございました。

## ★納骨堂委員よりお願い★

平成28年度までの管理費を、まだ納めていない方は、納骨堂委員まで、早めに納入をお願いします。



## 【帰天】安らかに！

10月18日

◇永谷 節子さん(吉田地区)



水巻教会炊き出し支援と同日に行われた代表者会議 10月14日(金)(10:30～)

当日の説明資料によれば、NPO法人抱樸は4市(北九州市、下関市、福岡市、中間市)で活動。5施設の総定員は186名。抱樸館、自立センター、シェルター抱樸において、有給職員104名、登録ボランティア250名、互助会員150名を有するという事です。

奥田先生他、スタッフにより、弁当配布・夜間巡回が続けられています。弁当配布は金曜日だけであり、ホームレスの方は他の日には街の残飯をあさることもあるそうです。今では、70人くらいとなっています。